

ナイロビ市マザレ・スラムにおける民族間の対立抑止のためのコミュニティ平和構築事業

① 事業内容、事業の効果に関する写真（2012年9月～2013年2月）

	
<p>警察と住民との共同スポーツイベントで、優勝グループにトロフィーをわたす石井プロジェクト・マネージャー（2012年12月マザレ）</p>	<p>スポーツを通じた警察と住民の交流会（2012年12月マザレ）</p>
	
<p>Statehouseで実施されたNational Peaceful Election Campaignの様子。（中央キバキ大統領から向かって上段右端がJCCP職員アリス（2013年2月ナイロビ）</p>	<p>Statehouseで実施されたNational Peaceful Election Campaign様子（2013年2月ナイロビ）</p>
	
<p>Community Policing Trainingに参加し、発言をするカサラニ警察所長・マダムカトーン（中央）（2013年2月ナイロビ）</p>	<p>警察と地域リーダーとの「平和フォーラム」の共同イベントにて、警察官らに前にグループ発表を行うマザレコミュニティ・リーダー達（2013年2月ナイロビ）</p>
	
<p>公共ゴミ箱を設置したWhyNot 小学校の生徒と教師。校内のゴミ箱には、すべて衛生啓発メッセージのステッカーが張られている（2013年2月マザレ）</p>	<p>ボランティアが自発的に作った、「Amani Imambe Uchafu Tusara(平和を広げ、汚いものを排除しよう)」のメッセージを掲げる清掃宣伝カー（2013年12月キアマイコ）</p>



住民参加型共同清掃活動ので、ほこりよけマスクをつけながら、掃除をするボランティアたち (2012年12月マザレ)



危険回避啓発キャンペーン：Peaceのメッセージを掲げる少年(2012年11月マザレノース)



「仲介・調停・問題解決」研修で講義を行うJCCP専門家・瀬谷ルミ子と研修生たち (2012年10月フルマ)



マザレ出身のスラムミュージシャンと連携した音楽を通じた防犯意識向上キャンペーンのコミュニティ・ウォーク様子(2012年12月フルマ)



Drive In小学校にて開催された「人権やジェンダーに基づく暴力、性的搾取、児童保護」啓発セッションで質疑応答に答える女子生徒たち (2012年11月マザレ)



Drive In小学校にて開催された「人権やジェンダーに基づく暴力、性的搾取、児童保護」啓発セッションで、スピーチをするJCCP職員アリス (2012年11月マザレ)